

自動車アセスメントとは？

1. 自動車アセスメントとは

自動車アセスメントとは、自動車の安全性能評価のことで、日本では国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構 (NASVA) が、安全対策の一つとして、市販されている車の安全性能について評価試験を行い、その結果を公表しているものです。自動車アセスメントは、JNCAP (Japan New Car Assessment Program) とも呼ばれ、自動車ユーザーの安全な車選びをしやすい環境を整えるとともに、安全な車の普及を図ることを目的としています。

2. 評価試験について

自動車アセスメントの試験項目は、以下の様に多岐にわたっています。

- ① 衝突安全性能試験
- ② 電気自動車等の衝突時における感電保護性能試験
- ③ 歩行者頭部及び脚部保護性能試験
- ④ ブレーキ性能試験
- ⑤ 後席シートベルト使用性評価試験
- ⑥ シートベルトリマインダー評価(座席ベルトの非着用時警報装置)試験

3. 衝突安全性能試験について

上記の衝突安全性能試験には、以下のようなものがあります。

- ① フルラップ前面衝突試験
- ② オフセット前面衝突試験
- ③ 側面衝突試験
- ④ 後面衝突頸部保護性能試験

<試験一部紹介> フルラップ前面衝突試験

運転席と助手席にダミーを乗せた試験車を時速 55km/h で、コンクリート製の障壁(バリア)に正面衝突させます。その時のダミーの、頭部、頸部、胸部、下肢部に受けた衝撃や室内の変形をもとに、乗員保護性能の度合いを評価しています。

衝突試験の結果は、試験車の質量が同程度の場合に限り比較が可能となります。試験車の質量が同程度であれば、評価の高い車ほど、この試験にたいする安全性は高いこととなります。



4. その他

海外でも、国、地域、環境に合わせた自動車アセスメントを定めており、様々な評価試験が存在します。